



ホームページ「Chiaki's home」

江見

千秋

独り言

2002 年

江見

千秋



表表紙の「独り言」の書は、

「書道村」主宰の

川戸翠紫先生に書いていただきました。

新しい年を迎えて・・・

2002.1.1

明けましておめでとうございます！

暦が新しくなる新年を迎えました。時が過ぎて行くのは、何時もと変わらないのですが、新しい暦を見ると、なんだか気持ちが変わり、「今年は何をしてやろうか?」と思うのが不思議です。

日頃、ご無沙汰をしている方に、年賀状を出し、遠くのお寺で鳴らす除夜の鐘を聞き、天気であれば初日の出を見に行き、その帰路初詣をする。帰ってお雑煮を食べる・・・お屠蘇と云ってウイスキーを飲む。

2日には、箱根駅伝を見に行く・・・これが私のお正月です

す。

「今年は何をしてやろうか?」と思うのは、このような正月らしい時間を過ごしている時です。

2002 年は何をしようか?・・・箱根駅伝までは、まだ時間があるので、慌てることはないが、ぼつぼつ考えることにして・・・と云っても、気の向くままの日々を送っている自分は、考えることを楽しんでいるのかもしれませんが。

今年も、趣味の木工、インターネットのホームページ作り、それに昨年参加した「湘南二宮・ITクラブ」のお手伝い、田舎での雑草との格闘などに、退屈しない時間を過ごすことになる

それにしても「1年の計は元旦にあり」と言う諺もあるので、今年やりたいことをあげると「**たくさん、絵を描こう!**」ということかな・・・まあ、これを元旦の気持ちとして、今年もがんばります。

今年も よろしく願いいたします。



3

何事も目的が大事!

2002.1.15

物事を勉強するためには、その結果を何に使用するか目的を明確にしておかないと、なかなか身に付きません。最近、そのことを、改めて痛感しております。

それは、ボランティア活動で、パソコン講習の手伝いをするようになって、今まで読んだ筈のマニュアルの内容が、ほとんど頭に残っていないからです。

日頃使用している手順は解るのですが、あまり使っていないことはサッパリです。

これは、マニュアルを呼んだ時に、その**使用目的**が不明確だっ

4

たからだと思います。

講習会で話さなければと、その目的を明確にして読むと、少しは頭に残る量が多くなるようです。

この反省から、講習会に来られる方にも、「ここで学ばれることは、何にお使いになりますか?」「まだ、何にお使いかハッキリしていない方は、なんでも良いから、使ってみる目的を作ってください!」と言うようにしています。

一方、パソコンは道具として万能選手です。しかし、日頃はその機能の数%も使っていないのでは無いかと思います。少しでもパソコンの持つ機能を多く活用するためには、パソコンの操

5

作とは別に、パソコンに何をさせるか・・・その**使用目的**の充実・拡充が大事のようです。そうすれば、当然、パソコンの知識も自然に身に付く筈です。

企業であれば、仕事が無いと設備が遊び、そのうち設備の使い方まで忘れてしまう・・・毎日サンデーの身ではあるが、そうならないように、仕事を見い出して行こう・・・と思う!



このホームページも、開設以来間もなく4年になります。ぼつぼつ気持ちも新たに、一新しようと思い、どのようなスタイルにすれば、自分も、訪れていただく方にも楽しいものになるだろうか？と考えているところです。

その過程で頭に浮かんだのが、「**蓼食う虫もすぎずき**」です。

この諺は、「蓼の葉は辛いのに、その辛い蓼を虫がいる、生き物にはそれぞれ好みがある。人の好みもさまざまだから、自分の好みから推し量って一概にいうことはできない。」という意味のようです。

この「Qiaki's hone」は自分の楽しみで開設しているので、自分の好みで・・・と思うのですが、ご訪問いただく方にも楽しくないと、開設する意味がほとんど無くなると思うのです。

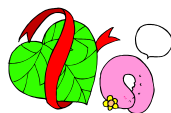
しかし、この諺のように、人の好みはマチマチです。

赤を快く思う人もあれば、青が良い人もある・・・淡い感じが良い人もあれば、濃いめの雰囲気好きな人もいる・・・こう考えると、どんな構成で、どんな色使いのページにすれば良いか悩んでしまいます。全ての平均値をとると、グレーのようで誰もが見向きもしないものになってしまうだろう・・・。

まあ、自分のホームページであるから、自分が「これなら、見る人を不愉快にしないであろう・・・、少しは注目され楽しん

でもらえるであろう・・・、たまには蓼食う虫？も来てくれるであろう・・・」と考えながら、新しく衣替えをしたいと思っています。

「乞うご期待！」と言いたいのですが、衣替えが何時になるやら・・・これを考えている過程が、また楽しいのです。



インターネットWebは無限！

2002.15

今月から、インターネット接続をCATVのブロードバンドに切替え、Webの無限さに驚いています。従来は、ダイヤルアップ接続であつたので、電話料を気にしながらのサーフィンであつたため、最小限度のサイトにしか訪問していなかったが、今は時間を気にせずサーフィンできるのです。

まずビックリしたのが、サイト、ページの多さ・・・多さというより、その無限さにビックリ！例えば、ある検索サイトで、住む町「神奈川県 二宮町」を検索すると、ピックアップされた件数は3,230件、それに「パソコン」を追加して絞り込んでも、

この件・・・これでは、リストを見ているだけで、目がチカチカし、自分の捜そうとしているテーマを忘れてしまう有り様です。

自分も、ホームページを開設し、楽しんでいますが、こんなに多くの人が、こんなに多くの情報を発信していることを、改めて知った次第です。

必要な情報を、自分なりに前もって想定して航海に出ないと、広い海原に漂流し、目指していた島につく前に、海の藻屑になってしまうそうです。

と、同時に、自分のページも、無意味なもの除き、本当に役立つものに整理する必要があることを実感しているところです。

一方、必要な情報が、何時でも取り出せることに慣れると、ヤット見つけた情報も、見終わると消えてしまい、知識として残らない・・・少なくなってくる脳味噌のためには、よいのかもしれないが、ますます脳味噌が乾燥するようにも思えます。

とにかく、氾濫する情報に溺れることなく、美しい港を訪れ、楽しい気分で遊ぶように心得たいと思います。

同時に、自分のホームも、訪れた方々を楽しくませるよう心得たいと思います。

先日のTV番組「NHKスペシャル 車いすから立ち上がれ」を見て、感じたことです・・・

番組の内容は、ある病院における、脳卒中患者のリハビリ治療について、車いすを主体とした介護から、車いすを使わない介護に変更し、成果をあげているというレポートでした。

病院内で、車いすを利用することは、移動などに患者さんの肉体的負担が少なく、病院側も危険防止にもなる。しかし、患者さんは、リハビリ治療の時間以外は、ベッドの上か、車いすの上の生活になり、体力がますます衰えてゆく。

そこで、ある医師の指導で、車いすは使用せず、とにかく自分の足で立ち、移動するように介護方法を変更したのです。そのためには、病院の勤務制度の変更をはじめとして、職員の方々のなみなみならぬ努力があったのです。

しかし、車いすを使わなくなしてから、3ヶ月に15人の方が、自分の足で退院されたとのことでした。

その中に、2つのエピソードが紹介されていました・・・

1つは、お孫さんの結婚式に、杖をつきながらであるが、自分で歩いて出席された女性の方、もう1つは、自分の家の庭いじりができるようになった男性の方の話でした。

この2つの例は、どちらも車いすを使わなくなり、苦しみな

がらも自分の足で移動することに努力された結果、希望が叶ったものです。

しかし、希望が叶うためには、もう1つ重要なことがあったのです。

それは、介護にあったて、従来は「とにかく歩けるように！」を目標にリハビリ治療をしていたのを、病院職員が、自宅まで訪問し、患者さんの発病前の状況までを調べ、患者さんが歩けるようになったら何をしたいのかを知り、その内容を目標に置き、患者さんを指導したことです。

何ごととも、安易なことだけをしていると、気も心も貧弱になる・・・目の先だけ（上の例では「歩くこと」）の目標では、

15

つまらない・・・歩くことは、何かをする手段・道具なのです。本当の目標はその先にあるのだと・・・、一歩先に目標を置き、物事を進めると、結果オーライになるようです。

何ごとにも、先の目標を目指し、毎日を送りたいものです。



味覚はラベルより舌びっ！

2002.3.15

雪印食品の牛肉偽装事件に始まり、豚肉、鶏肉など、方々で食品の偽装が発覚している。

人を欺くことは以ての他である。

法令を知っているながら、それを犯すなど、さらに酷い者であることに間違いはない。

このような偽装事件の報道を見聞きしながら、ある日、次のような落語を耳にしました。

・・・「美味しいキャットフード」と言う猫の餌の缶詰があるが、この「美味しい」は、誰が味わって命名したのだろう猫は「美

17

味しい」と言う筈はない。人が猫の餌を食べて「味しかった」の
だろうか???・・・・・

食品の偽装事件と、この落語を、同じ場で話すのは、自分でも不謹慎と思うが、大目に見ていただいて・・・

騙す人は確かに悪いが、ラベルだけを頼りに買うのも考えものである。

消費者の大半は、肉を見て、国産品か輸入品かを、すぐ見分けるのは困難である。

XX牛と言うブランド品かそうでないかを見分けるのも難

18

しい。

こうなると、ラベルで見分けるしか方法はないのかもしれない。

しかし、いずれにしても、買ってきて自分達が口にする物であるからには、ラベル頼りでなく、自分の目で見分けるようにしたいものである。目で見分けるのが難しければ、月に何回か口にする物であるから、舌で見分ける？ ようにしたいものである。

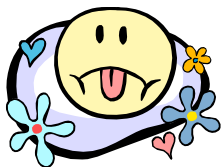
とにかく、「美味しい」かどうかは、ラベル任せにせず、毎日使っている、目や舌を頼りにした方が、腹をたてる回数が少なくなり、健康にも良いのではないでしょうか？

また、こうすることが偽装を防ぐことにもなる筈です。

19

「美味しいキャットフード」の「美味しい」は、猫の舌の動きを人が見て、代弁したのではないのでしょうか？ 猫が、食べ残すようになれば、偽装品の可能性大です？！

何ごとも、できるだけ自分の五感を頼りにしましょう！



20

先日のお彼岸に、自動車で帰省した際、片道 600km 弱の高速道路を走りながら感じたことです・・・

一人で高速道路を走っていると、**緊張とゆとり**の必要性がよく解ります。まず、一般道から高速道路へのゲートを通り本線に入る時、最初の緊張感を味わいます。続いて、追い越し車線に入る時やはり緊張します。その状態が続くと、やはり**緊張**のためか肩に力が入ってくるように感じます。

そのような時、追い越し車線から走行車線に入ると、ホットしたような気になり、チョットゆとりを感じます。

そこで一休み（実際は、同じような速度で走っているのですが・・・）した気持ちになり、また追い越し車線に出て、追い越しをかけます。

走行車線だけを走り、**ゆとり**感を持って走れば安全かもしれませんが、長時間の場合、緊張感が少なくなり、逆に眠気を感じるようにもなります。かと言って**緊張**の連続では疲れが増します。やはり、長時間の運転をする場合は、適度の緊張と適度のゆとりを繰り返すことが、安全運転につながるようです。

生理学や心理学を勉強したわけではないので、その真意のほどは解りませんが、自動車の運転だけでなく、日常の生活や一生の営みにも、同じような緊張とゆとりの繰り返しが必要なので

はないでしょうか？ ガムシヤラに働いた？ 会社生活を経験し、今は毎日がサンデーの身になったためにそのことを特に強く感じます。

最近、学校の週休2日制が話題になっているが、子供達にも緊張とゆとりを適当に与えてやる必要があるのではないかと思います。

Webでタイムスリップ！

2002.4.15

パソコンを前にしていたある時、フト学生時代を思い出し、当時所属していた研究室で研究されていた、「真空管式電子計算機」をWebの上で見ようと、「真空管式電子計算機」をGoogleで検索してみました。

「真空管式電子計算機」に関するページは条件有り、その中に懐かしい写真を発見しました。

そのURLは、

http://www.museuniosaka-u.ac.jp/val_uabl_e_speci_nen/sample010.html じゃ。

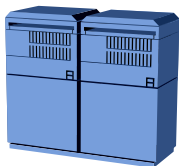
モノクロ写真1枚でしたが、40数年前にタイムスリップし

た気分を味わいました。興味ある方はご覧ください。その他のページにも、世界で最初の真空管式コンピュータ「ENIAC」や研究室で指導を受けた先生方の紹介も、懐かしく見ることができました。

このように、インターネットは、現在の情報だけでなく、過去の情報も数多く持っており、必要な時、フト知りたくなった時、何処からでも、時空を問わず見に行くことができる道具です。そのうち、未来の情報も多くなる筈です。

しかし、余りに情報が多すぎ、余程航海術を磨かないと、海原を彷徨うばかりで目的地に着く前に、海の藻屑になってしまうことになってしまう可能性もあります。

とにかく、楽しむにも、勉強をするにも、自分の目的を明確にして、荒海の中でも、目的とする港を忘れないようにしたいものです。



人は、なぜ自分の首を絞めたいのだろうか?!

2002.4.28

先日、あるTVの番組で、日光いろは坂の猿を取材した番組を見ながら感じたことです・・・

番組の内容は、野猿が、観光客の自動車やお店の食べ物を取に来るのを取材したものです。

自動車の窓から飛び込んで、お菓子を取ってゆく、お店の戸を開けて中の品物を持って行く・・・番組の編集にもよると思われるが、その行動が余りにも酷いのに驚いた。

このような状況は、猿が悪いのではなく、人がこのような状態を作り出したのだらうと思う。

27

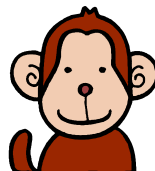
それは、人が、観光客を呼ぶために、猿を利用しようと餌付けをした・・・美味しい餌につられて、猿は、だんだん行楽地や人里に降りて来た・・・番組の中にも、禁止されているにもかかわらず、観光客がダンゴを差し出し食べさせようとしたら、手に持っていた串ダンゴをも皆持って行かれた・・・。

自分の勝手で始めたことが、自分が困る事態を招く・・・「自分の首を自分で絞める!」の諺通りになっている。情けない!!

最近の、政治家や役人の疑惑も、この類ではないだろうか???

28

ともかく、身から錆は出さないようにしたいものです。



押し花と旬

2002.5.13

このページでも、時々紹介しております押し花を、少し前から楽しんでいきます。

押し花を始めてから、庭や道端の草花に目を向けることが多くなりました。

今年は、気候のせいかな、草花の見頃が、例年よりかなり早いとのことですが、日頃草花の旬を気にしていない自分には、あまり気になりませんでした。美しい時が、旬と思えば良いと考えていたからです。

綺麗な草花を見つけると、それを摘んで、本などの間に入れて押し花にする。

しばらく経って、草花が平たくなり(草花には申し訳ないが：)、乾燥すると、台紙の上にアレンジする。

乾燥後も元の色彩を保っていると、嬉しくなるのですが、その時は、その草花の匂は過ぎていくことが多いのです。

美しい時の姿を保存して置くのが、押し花を楽しむ方法とってはいるのですが、台紙の上にアレンジする時、その草花の匂が過ぎていくと、摘んだ時のことを思い出しながら「この草花の匂は、もう終わったのだナ」とタイミングのズレが気になり、少し寂しくなります。

やはり美しいのは**匂**の時！ **押し花**は思い出の1ページ！
何ごとも**匂**を大事にしたいものです。



雑草との格闘!

2002.6.1

5月20日より10日間、約2ヶ月ぶりに帰省しました。
田舎では、田植えの真っ最中でした。

しかし、耕作を予定していない、我が家の前の田んぼは、「主の居ぬ間のなんとか・・・」で、雑草の天下でした。

これを放っておいては、アット言う間に原野になってしまい、付近の稲田にも迷惑を掛けることになるので、雑草との大格闘を展開しました。 右の勇姿?がその様です。

刈り倒しては、燃す・・・作物を作らない所には、除草剤を撒く・・・これが、毎度繰り返し返される雑草との格闘です。

相手は、飛び出しはしないが、倒した後から生えて来る・・・

33

もぐら叩きそのものの様相です。

しかし、考えてみると、昔から農作業はこの繰り返しです。

これが、里山を守り、田畑を維持し、自然と共存する手段だったとも思います。

一作業しての昼寝、目を覚ましてまた一作業、その後の風呂上がりの晩酌・・・美味しいことこの上無しです。



時々耳にする「至福」とは、どんな感じだろう・・・と思っていたある日、こんなものかな?と思う一時を持ちました。

それは、ある晴れた日の夕暮れ時です。

昼間、汗を流しながら庭の木の枝を剪定し、まだ明るいうちに風呂を浴び、夕食・・・何時ものように晩酌付きで・・・を取り、晩酌の2次会?とばかりにオンザロックのグラスを手に、狭いながらも我が家の庭でビーチチェアに長くなり、空を眺めた時です。

空はまだ青く、風はそよ風・・・先ほどの作業(剪定)の成35

果を眺め、次はあの枝の何処を切ろうか、いやその横の枝かな・・・と、グラスを傾けている時・・・これが「至福」な時かな?と感じたのです。

庭木職人の方が、作業を一段落すると、縁側に座り、作業の終わった木を眺めながら、キセルを取出し一服する・・・こんな風景を思い出しました。

「至福」と感じるのは、人によって異なるとは思いますが? それぞれに「至福」を感じる時が必ずあると思います。

働いた後、その成果に思いを巡らし、ほろ酔い機嫌で、気36

持ち良い自然の中で、次に何をやってやろうか? と思い浮かべる・・・些細なことかもしれないが、できるだけ多く、この気分を味わいたいものです。



犬の気兼ね?!

2002.7.1

我家に、10年来、軒先きを貸し、食事を与えている雑犬がいます。

自分でも、番犬と心得ているのか、来客のチャイム、電話の呼び出し音、近所を通る救急車のサイレンなど、少し変わった音がすると吠えてくれます。しかし、来客に吠えるのには困ります。それ以外は、家内と散歩に行く以外寝をべっています。

その犬の居る庭先に、毎日のように、鳩のカップルと頭に白いマーク?のある親雀の家族が、犬の餌のお零れにあやかろう

とやって来ます。

その様子を見てみると、犬が飼主に気兼ねしている？・・・のではないかと思われるような仕草があります。

犬が人に気付いていない時には、雀達が鼻先の餌の器に餌を貰いに来ても、寝そべって、目を細くして静かに見ているのが普通です。

ところが、僕と目が合うと、やおら立上がり、雀達を追払うのです。その時も、「コラッー！」言った態度でなく、「自分はいいんだが、飼主が見ているからダメだよ！」と言った感じで追っているように感じます。

犬でも、養ってもらっている身だと思い、飼主に気兼ねしているのだろうか？・・・

飼主に気兼ねしないで、雀達とも仲良くしろ・・・と言ってやっても解らないと思うので、そんな時には、できるだけ目を合わせないようにしています。

人に迷惑を掛けない範囲では、人のすることをあまり気にせず、気兼ねせず、人にはそつと親切に・・・の過ごし方がよいのでは？



物事を行うタイプを、「考えた後走る」「考えながら走る」などと言っていることがある……。

自分が趣味の木工などをしている状態を考えると、まったくの「考えながら走る」タイプです。

何をする場合でも、準備するのはせいぜいスケッチ程度のもので、まず手を動かす……次はどうしようかと、仕方なく脳味噌も働き、その結果でまた手が動くといった状態です。

サラリーマン時代は、設計部門で、物の形や素性が見えない段階で、「絵に書いた餅」にならないことを願いながら、図面を41

描いていました。

これが、リタイアし、趣味の世界になると、「絵に書いた餅」が作品ではないので、まず餅米を蒸かし（「作り」）始めるのです。蒸かし加減も、時計など当てにしないで、チョコチョコ摘み食いしながら具合を知るのです。

この間も、脳味噌は、蒸かし加減の判断をしながら、次の段取りを組み立てる……等々フル回転している筈なのです。

脳味噌の働きが鈍くなり、次の手が解らない時は、手は一服する……手が疲れると、脳味噌は手の疲れを取るべく働く……脳味噌は、手と二人三脚でマラソンをしているの……いや、脳味噌は、寝ている間も働いているので、エンドレスのマラソンかな……**ご苦労さん!**

このように、「考えながら走る」ことが、趣味の醍醐味と思うのです。
何時迄も、脳味噌と手の二人三脚で、疲ればトボトボ歩いて…
このマラソンを続けたいものです。



憩いの場、それは塹(ねぐら)?!

2002.7.29

毎度のことですが、夕方、晩酌のコップを横に、狭い我家の庭で、デッキチェアに寝そべって空を見てみると、十数羽・・・いや数十羽のカラスが塹があると思われる方向に飛んで行く。カラスも日中働き?、夕方になったので、自分の塹に帰っているのだろう。

気が付けば、先ほど迄、我家の犬の餌を狙っていたスズメも帰宅?したのか、庭に姿が見られない。もう出て来たのかと考えていた、セミの声も静かになった。

多分、お努めのサラリーマンは、ラッシュアワーの電車の中から、ビヤホールでジョッキを傾けている頃だろうと思う。ジョ

ツキーを傾けている方々も、何時間かすると電車で帰宅の途につき、塙に着くことと思う。

気が付けば、台風之余波を受けたのか、木のハッパも飛ばされ、**塙**？である地面に落ちている。

周りも薄暗くなったので、自分も我が塙に入ろう・・・

夜になると、カラスも、スズメも、セミも、サラリーマンも、さらにはハッパまでも、**憩いの場である塙**に帰って、ゆっくり休むのだろう・・・。

とにかく、一日を、一生懸命働いた者が味わう**憩いの場**、

45

それが塙（ねぐら）なのだろう・・・。

この**塙**が無ければ、何人も明日が働けないのでは・・・！

とにかく、ゆっくり休みましょう！（夜行性の方は、昼間ゆっ

くり休みましょう！）

自分は、チェット働きが足りないかもしれないが、今夜も**塙**でゆっくり休み、明日は頑張ろう！・・・と**独り言**を言ってる次第です。お休みなさい！



旧盆に帰省し、家の周りの夏草に遭遇しての感想です。

芭蕉が夏草をみて詠んだのは、「夏草や兵どもが夢の跡」だったのですが、僕の気持ちは「夏草や伸び放題の無精髭」でした。

炎天下に生えている雑草は、背丈程のがあると思えば、地面に布団を敷いたような箇所もあり、まるで手入れをしない無精髭のようでした。

帰省した翌日から刈払機を取出し、夏草との格闘が始まったのですが、涼しい間に・・・と、鬚を剃るのも忘れ作業に取り
47

かかったので、今度は我が顔に無精髭が・・・といったところで、前記のような句？になった次第です。

芭蕉のように高尚な精神状態でなかったので、無精髭が浮かんたのだろうが・・・

その状況は、昔は元気な者どもが戦った（働いた）が、今ではその姿が無く（過疎になり）、とって変わって夏草が茂っている様は、同じような情景では無いかと想像できます。

故郷は遠くにありて想うもの・・・といっても、故郷は適当に手入れされ、兵どもが夢の跡であってほしくないものです。

猪や鹿では、里山の手入れも儘ならず・・・できるだけ故郷の無精髭も剃ってやり、何時でも故郷は遠くにありて想うも
48

の・・・と言える里山にしておきたいと思うばかりです。



マンネリ化と移り気

2002.9.15

このホームページを開設して4年半を過ぎ、ほぼ月2回のピッチで更新していますが、ご訪問していただく方には「またこれか・・・」と思われるような、マンネリズムに陥っているように、申し訳ありません。

一方、このページでも紹介している、趣味の木工では、特に理由は無いが、ラックやコーヒスタンドを作りながらも、パズラートと称するパズル・おもちゃの椅子やテーブル・置物のおもちゃ・木象嵌のコースタなどと1年ピッチ位で作品が変わっている・・・。

このことは、次には何が出るだろうと少しでも期待を持って見ていただきたいホームページと、じっくり腕を磨くことが必

要な**作品制作**が逆のように思えてきました。 ホームページも木工などの**作品制作**も、気の向くままの自分の趣味として始めたものですが、見ていただくからには、やはり多少の期待を持ってリピートしていただきたいとも思っています。

そのために、マンネリ化しないように刷新しようと思っているのですが、なかなかアイディアが浮かびません。一方、作品の方は、季節ものをモチーフにすると、これまたアイディアが浮かばず横道に逸れてしまいます。

こう考えると、共にアイディア勝負・・・

最近、これでもかコレデモカと見せつけられる新聞・TV 51

の、成果の不明な構造改革、偽証、いじめなど、あまり芳しくないマンネリ化した報道を他山の石として、なんとかホームページはマンネリ化にならないように、作品制作は移り気しないで腕をあげるように、脳味噌を叱咤激励したいと思います・・・少し気長に待っていてください。



下記に**動くおもちゃ**を紹介しておりますが、これは所属する
湘南二宮・ITクラブの仲間の一人が、やはりボランティア活動
として「子供の工作室」の講師をしていると聞いたことから、自
分の子供の頃を思い出し作ってみました。

これらを作りながら考えたのですが・・・子供を遥か昔に卒業し
た自分が、このような**おもちゃ**を作る気分になぜなったのだろう
か?・・・と。

子供に遊ばせてやるため?、商売にするため?・・・こんなこと
は全然頭になかったのです。では趣味で?・・・こんなことも考
えないで始めたのです。

目的は何か?・・・と、改めて考えて見ると、意識はしてい
ないが、子供心に帰り、動くものを作り、動かしてみたかった・・・
としか言いようが無いようです。

趣味である木工制作や絵を描くこと、写真を写すことなどの醍
醐味の多くは、それをするのが楽しく、出来上がったものを眺
めて満足感を味わう・・・同時にもう少し満足感を増すものと
次の制作に取り掛かることです。ボランティア活動もその
1つかな・・・。

とにかく、人それぞれに楽しむ対象は異なるが、**行動を楽しみ、
成果に満足感を味わうことを目的とするテーマ**を持っている

ものです。

他人から見れば「それナニ？」と云ったものを作るのに汗を流し、出来上がったものが下手でも、それを見ながらビールで喉を潤す・・・ああ満足・・・いや、次は良いものを・・・**動くおもちゃ**を作ったのもこれが目的だったようです。

飽きもせず、それ程役には立たないものを次からつぎに作っているが、その過程、その成果は、自分の脳味噌の劣化を少しは防ぎ、多少の満足感（当然自己満足ではあるが）を与えてくれるので、**目的などは別に**して、これからも続けて行こう。

パソコンパニックでタイムスリップ・・・

2002.10.10

いつも愛用しているパソコンが、10日程前、原因不明で記憶喪失症になりました。

3年余りかかって学習した知識が、一瞬にして消えてしまったのです。

いろいろな回復に努めました。自宅治療ではどうしようもなく、パソコンショップで外来治療をうけ、現在懸命にリハビリ中です。

この経験で、改めて反省したのは、日頃の**危機管理**（バックアップ）がお座なりであったことです。

パソコンの脳みそを生まれたばかりのきれいな状態にし、

それまでに勉強した際のメモ（捨てないでいた外部保存データを、記憶を辿りながら、再学習させているところです。

このリハビリを行いながら、感じたのですが・・・やはり、パソコンは与えられた道具（プログラム）以外使えないことです。

従って、使用する人が面倒をみて教えた以上のことはできないのです。

保存しておいた知識を教えることは簡単なのですが、このような事態になると、パソコンではなく、日頃与えた道具をあまり意識せずに使っている自分がパニックになるのです。

57

それは、日頃雑誌などに添付されているソフトウェアやダウンロードしたソフトウェアで、時間が経ち、その出所が、自分の記憶から消えかかっているものが深刻なのです。

今回も、パソコンを入手して以来の情報を、タイムスリップしながら思い出し、古い雑誌を取り出したり、以前使っていたパソコンのディスクを改めて覗いたり、Webで心当たりのページを覗いたり、自分が当時にタイムスリップしてリハビリに努めています。

改めて**危機管理**の必要性を知りました。

一段落したら、教え込んだ道具（プログラム）やデータを整理し、記録に残しておくつもりです。

58

記録は当然パソコン外に！

最も重要なのは、この気持ちを忘れないことなのですが・・・
自分が記憶喪失にならないように気を付けます。

災難は 忘れた頃に やって来る！

パソコンも 忘れた頃に フリーズす！



59

情報交換はヤッパリ飲みながら！

2002.10.25

リタイアし6年も過ぎると、今までの人生の半分以上を過ごした会社の様子も、ほとんど解らなくなって来ました。

毎月送られて来る社内報も、登場する人が世代変わりし、何となく他人事のような感じがします。

これでは寂しいと思い始めた頃、会社時代の友人に誘われ、月1回の集いに参加するようになりました。

集い・・・当然、居酒屋でコップを傾けながらの集いです。

通常、飲み放題2時間という居酒屋に、現役2、3人をも含め7、8人が集まり、好きなアルコールを飲みながら、会社の様子、世の中の情勢、個人の現状などを気侃に話すのです。

60

会社生活を卒業し、毎日サンデーの身にとっては、会社帰りの一杯とはまた違った愉しみがあります。

同じ釜の飯を食った者が、過去を振り返り、現状を話の種に、和気あいあいと喋ることは、何にも増して元氣回復になるようです。当然、**酒があつての上ですが・・・**。

酒の飲み方も、上手くなっている年頃なので、なおさらのことです。

石原慎太郎著「老いてから人生」にあるような、「人生は老いてからが味がある！」・・・「若い頃にはなかった経験と、それが培ってきた冷静さをもって老いを迎え討つ」・・・と、大上段に

61

構える必要はないが、同じような道を歩んだ者が、過ぎ去った過去をネタに、現状をつつき、明日を想像することは、老いた（まだまだ早いが）者の最大の愉しみのような気がします。

これからも、飲みながらの情報交換を続け、それを糧として趣味に没頭する。また、趣味を生かしたボランティア活動にも参加する。そして、その様子を集いで披露する・・・。

これが、まだ長く続くであろう人生を、退屈することなく愉しく過ごすため原動力になると思うのです。

次の集いが待ち遠しくなりました。

子供に還った工作室

2002.11.8

下の「Town」にも紹介しております「子ども工作教室」が、先日開かれました。

その講師を友人がつとめたので、見学がてら必要ならば助っ人にもなろうと行ってみました。

テーマは「**万華鏡**」、子供達は小学3、4年生、26名が参加していました。

はじめの間は眺めていたのですが、制作が始まると、腕がムズムズしだし、何時の間にか子供の中に入っていました。

最初の3枚のカガミを三角形に仮止めする作業では、つい

63

自分も手を出しそうになるが、「これは子供がするんだ・・・」と自分に言い聞かせ、特に困っている所にだけヒントを与える程度に手助けしました。

自分が子供の頃、小学1年から5年まで、各学年のレベルに合った模型飛行機の工作があり、夕方まで作っては飛ばし、壊れたのを直してはまた飛ばす・・・を繰り返していたことを思い出します。（6年は終戦で模型飛行機も作れなくなりました。）

最近の子供達が、学校などでどのような物を作って楽しんでいるか知らず、またマスコミなどで、今の子供達はナイフも使えない・・・などといわれていたので、少し心配していたのです

64

が、今回の子ども**工作教室**を見た範囲では、安心しました。ナイフこそ使わなかったが、みんな上手に作業を進めていました。チョット行き詰まっても、ヒントを与えるとすぐ理解し、次の作業に進んでいました。

万華鏡の「具」の入れかたや、鏡胴の飾り付けも各人いろいろ工夫していました。また、完成した時の喜びも感激一杯の様子でした。

今年ノーベル賞を貰われた、小柴さん、田中さん共に「好奇心」と「実験」の重要性を説かれていましたが、少なくとも今回参加した子供達は、その要素を持つているように思いました。

65

とにかく、子供達に、実物を手に取らせ、好奇心を引出させてやるのは、大人達の役目と思うのです。

子供達が「もう勘弁して・・・」と言うくらい、物を作る環境を準備してやりたいものです。

小学生になると、ナイフを持たせ、自分で鉛筆を削らしてはどうでしょうか？

多少の傷は、痛みを知ることの大切な経験になるのではないでしょう

うか？
僕の手にはいくつかのナイフ傷がありますが、無事成長しました。

66

題目の表現がチョット説明不足ですが・・・

ボランティア活動で、パソコン講習会のスタッフをしている時、パソコンの操作で良く利用する「ツールバー」の扱いをどのようにすればよいか、戸惑うことが多々あるのです。

パソコンも機能が豊富になり、使う人が操作法を自分に便利のように設定できるように、同じ操作を行うにも多くの方法が可能になってきています。

例えば、同じ動作を始める方法にも、「メニューバー」という言葉の一覧表のようなところを指定する方法と、「ツールバー」というアイコン（操作を簡単な絵で表示）から設定する方法等がある

67

ります。

操作手順の種類が豊富であることは便利で、同じことをするにしても、人それぞれが異なった方法を用いていることが多いのです。

自分流の操作方法に慣れていて、パソコン講習会などのスタッフになると、スタッフどうしの教え方が異なることも多々あり、自分自身でもどれが基本か解らなくなることがあります。物

事が多様化し、自分に合ったようにそれらをアレンジし、物事に対処することは、便利でよいことなのですが、あまりにも多様化し、**基本・標準**が解りにくくなると、それを理解する側はウロウロしてしまう場合が多いのです。

例が多少違うかも知れませんが・・・方言で話すのは、同郷の人は親しみも湧き、理解が速いこともあります。多くの人に理解してもらうためには、少し堅苦しくても標準語が必要である・・・これに似ているように思います。

物事、多少堅苦しくなるかも知れないが、聞く人が順序だって理解できるよう、自分でも**基本・標準**をよくわきまえ、物事に対処したいものです。

Web サイトは知識の宝庫だが・・・

2002.12.10

今更こんなことを言うと、笑われるだろうが・・・

何回か前のホームページの更新時から、面白いWebサイトを紹介できないかと、検索サイトや新聞・雑誌などで目にするサイトを見るようにしています。

その状況は、世の中面白い情報、賢くなる情報、役に立つ情報・・・有るワ！あるワ！です。無限と言っても言い過ぎではないようです。

居ながらにして見れる富士山や道路さらには外国の街角のライブ情報、宇宙から見た日本・・・、身近では近くのバス停の時刻、地図などの生活情報・・・番組欄を気にしないで見られるニュース等々、とにかく**Webサイトは知識の宝庫**です。

サイトを訪ねることを、サーフするとも言いますが、その名の通り、情報の波に漂っているようです。

Webサイトは知識の宝庫だが・・・、気を付けないと自分が大海原を漂うだけで、求めている情報をただ眺めるだけになっていないか・・・です。時には陸に上がって、ふやけた頭を乾かす必要があります。

まあ、これからも、多くのWebサイトを訪ね、面白く役に立つ情報を探し出し、毎日の生活の糧にしたいと思うが、脳味噌がチャポンチャポン鳴らないよう注意したいものです。



今年も、あと数日で年越しを迎えます。

毎日がサンデーの身にとっては、ボーナスの日も無く、忘年会も少なく、年末の気分はあまり感じられません。

と言っても、年賀状が売り出され、商店街のイルミネーションが瞬きはじめると、やはり年末だナ！と自分に言い聞かせる気持ちにはなりません。

年末になると、今年はどんなことがあったかな？と、10大ニュースなどを競っていたのですが・・・最近では、日頃のニュースと同じようなもの、それも悪い内容のものが多く、どれが大ニュースなのかあまり気にしなくなりました。

今年のノーベル賞受賞の小柴さん、田中さんは別ですが・・・。

ニュースだけでなく、スーパーなどに売られている野菜・果物・花なども、季節に関係なく、何時でも同じものが並んでおり、季節感はまったく無くなっています。

こんな気持ちになっている自分を、それではダメだと言って聞かせてくれるのが、周りの山や野の風景です。

春に芽を出し、夏に育ち、秋に紅葉になり、冬に落葉となって新しい芽吹きを待つ・・・これだけは、忘れないで季節を教えてください。

年賀状も出し終わった・・・あと年越しまでにすること

は・・・僅かながらの餅搗きとお飾り作り、天気が良ければ玄関周りの掃除・・・大晦日は、TVの「ゆく年くる年」を見ながらソバを食べる。

子供の頃からやっていた行事は、真似事になるかもしれないが、止めないように続けたいものです。

そのことが、1年の経過はあまり定かでなくても、やっぱり年末を忘れてはいなかった！！・・・という気持ちにさせるからです。

まあ、何をやって来たか？は、ソバを食べながら思い浮かべることにします。

みなさん、

今年もいろいろご愛顧いただきありがとうございました。
新しい年もよろしくお願いいたします。

みなさんにとっても、

新しい年が良き年でありますようお願いしております。

